

2015 年 12 月 15 日

各 位

会 社 名 東京センチュリーリース株式会社
代表者名 代表取締役社長 浅田 俊一
(コード番号 8439 東証第 1 部)
問合せ先 広報 I R 室長 松原 健志
TEL : 03-5209-6710

会 社 名 シエル・テール・インターナショナル
代表者名 代表取締役 アレクシー・ガヴオー
問合せ先 株式会社シエル・テール・ジャパン
ビジネス開発担当 ネージュ・プレアン (日本語可)
TEL : 03-6853-6625

水上太陽光発電の世界的パイオニア シエル・テール・インターナショナルの株式取得について

東京センチュリーリース株式会社（本社：東京都千代田区、以下「東京センチュリーリース」）は、水上太陽光発電の世界的パイオニアであるシエル・テール・インターナショナル（本社：フランス、以下「シエル・テール」）から、シエル・テールの普通株式の 15%を取得いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 本株式取得の目的

東京センチュリーリースは、京セラ株式会社（本社：京都府京都市、以下「京セラ」）と共同で設立した京セラ TCL ソーラー合同会社（本社：東京都千代田区）において、2014 年 8 月より、シエル・テールの水上架台（水上に太陽電池モジュールを設置するための浮体構造物「Hydrelia[®]」、以下「フロート」）の提供を受け、水上太陽光発電事業への取り組みを開始いたしました。これまでに兵庫県加東市の西平池、東平池および兵庫県加西市の逆池^{さかきまいけ}の 3 か所において、合計約 5.2MW の水上設置型メガソーラー発電所を稼働させ、現在千葉県山倉ダムにおける水上設置型では世界最大級となる約 13.7MW のメガソーラー発電所の開発も進めています。

全国各地で太陽光発電の導入が次々と進みメガソーラー発電所の適地が減少、さらに電力固定価格買取制度（FIT）の買取価格引き下げに伴い、陸上太陽光発電事業の開発はピークアウトが予想される一方、年間を通じて降水量の変化が大きい日本では、農業用ため池、河川増水時の調整池など全国に多くの池があり、これらを有効活用する水上太陽光発電事業は未だ黎明期であり、水冷効果により発電効率が向上すると言われていることなどから、今後も成長が期待できます。

また、シエル・テールのフロートは同社が開発し特許を有しており、日本国内のみならず、フランス、イギリス、タイ、韓国など、世界各国において豊富な稼働実績があります。今後、東京センチュリーリースが京セラと共同で太陽光発電事業のグローバル展開を検討していくにあたり、水上太陽光発電におけるシエル・テールの技術面・実績面に基づく優位性は不可欠であり、本件株式取得を通じ、パートナーシップを更に強化することといたしました。

東京センチュリーリースとシエル・テールは、太陽光発電事業を通じ、再生可能エネルギーの普及を促進するとともに、地球環境保全ならびに循環型社会の形成に貢献してまいります。

2. シエル・テールの概要

(1) 商 号	Ciel&Terre International
(2) 本社所在地	フランス・リール
(3) 代 表 者	代表取締役 アレクシー・ガヴォー
(4) 事 業 内 容	水上太陽光発電システムの販売・設置・メンテナンス
(5) 資 本 金	500,000 ユーロ（約 66 百万円）
(6) 設 立	2013 年

3. 取得前後の所有株式の状況

- | | |
|---------------|------------------|
| (1) 異動前の所有株式数 | 0株（所有割合 0.0%） |
| (2) 取得予定株式数 | 883株 |
| (3) 異動後の所有株式数 | 883株（所有割合 15.0%） |

4. 日程

- | | |
|-------------|----------------------|
| 2015年11月30日 | : 株式譲渡契約および株主間契約等の締結 |
| 2015年12月15日 | : 株式取得 |

5. 業績に与える影響

本株式取得に伴う 2016 年 3 月期業績への影響は軽微であり、2015 年 5 月 12 日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

■ 京セラ TCL ソーラー合同会社が運営する水上設置型メガソーラー発電所



兵庫・高岡西水上メガソーラー発電所
（加東市 西平池 約 1.7MW）



兵庫・加西市逆池水上メガソーラー発電所
（約 2.3MW）

以上